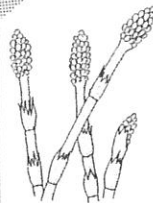


愛のペンダントの

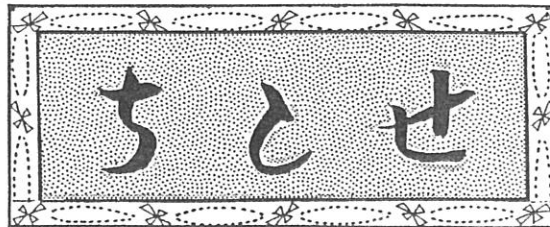
協力員をお願いします



皆様ご承知のとおり急速な高齢化がすすんでおります。中には、ひとりぐらし、または高齢者だけの世帯の方たちがおられます。そこで世田谷区では65歳以上で病弱なひとりぐらしの高齢者、または高齢者だけの世帯で突発的に何か生じた

場合のために緊急通報システムがあり

発行：編集委員会
編集者：板橋昇
事務局：船橋出張所内
☎(3482)0341
1995年3月 NO.48



『愛のペンダント』といい使用していただいています。(胸にかけたペンダント形の通報器を押すだけで東京消防庁に緊急事態を通報し地域の協力員と救急車が駆けつけます。)この緊急通報システムを行うには、是非近隣の方々のご協力が必要です。協力して下さる方を協力員といっています。次に『協力員』の役割などにふれておきたいと思えます。

(1)緊急事態が発生したと判断されたとき、東京消防庁からの電話連絡を受け利用者のお宅に駆けつける。

(2)協力員の人数は利用者一人につき原則として二名以上必要です。

(3)利用者と合意のうえ、利用者宅の合鍵を預かっておく。

(4)世田谷区主催の連絡会などに出席する。(都合のつく方)

区役所でも一人の利用者に対してできるだけ多くの協力員の方々を登録していただくよう利用者や利用者のご家族にお願ひしてあるそうです。緊急通報協力員といういかめしい名前がついていますが、ひとりぐらしのお年寄りや身体に重度の障害がある方等のいざという時の不安感と心細さをやわらげる一番身近な隣人であり、いざという時に頼りにされるボランティアではないでしょうか。

(船橋3-25-5民生委員、根本喜美子記)

何か私にお役に

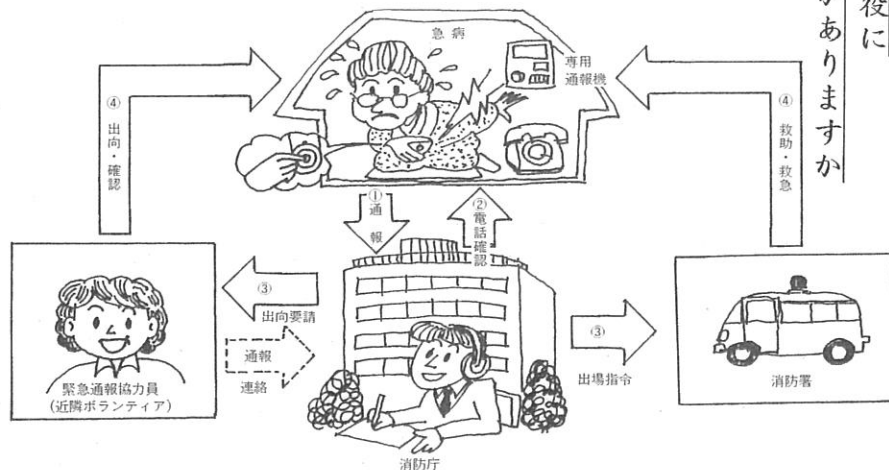
たつことがありますか

方は世田谷区内で322名、船橋出張所管内では、千歳台1名、船橋14名です。平成6年4月以降は、幸いにも利用回数ゼロになっております。詳しくは、お近くの民生委員または世田谷区役所高齢者福祉課在宅サービス係(☎542-1111内線2411)におたずねください。(取材 高橋 奈仁和)

右の記事により、区の事業のひとつである『愛のペンダント』を皆様に、おわかりただけた事と思います。希望される方からの問い合わせがありましたら、是非ご協力お願い申し上げます。現在の『愛のペンダント』を持つことができます。

- ◆船橋出張所管内総人口 24,862人
- ◆65歳以上の高齢者 2,743人(全人口の11.03%)
- ◆ひとりぐらしの高齢者 292人(高齢者の10.65%)

〈船橋出張所管内〉平成6年1月1日現在



成城警察署 環八沿いに移転

2月16日 高橋署長に取材

問 移転となった要因は。
答 現在の場所が不便なこと、昭和45年の建築でかなり老朽化していること、敷地が狭いことなどです。

問 どちらへ移転ですか。
答 環状八号線沿いの船橋小学校前です。(千歳台3丁目)

問 新建築物の規模は。
答 敷地は現在の2倍の約4千平方米、建物は7階です。

問 着工はいつですか。
答 今のところ未定です。(インタビュー 塩野とみ子)

問 平成9年に着工し、平成11年に完成予定です。
問 移転後どのような良い点が考えられますか。
答 幹線道路に面しているので車の出入りが楽になり、施設も広くなるので、ゆとりをもった活動ができます。

問 移転後現在地は何になるのですか。
答 今のところ未定です。(インタビュー 塩野とみ子)

出張所からのお知らせ

平成7年3月1日より、住民基本台帳事務処理要領の改正に伴い、住民票の世帯主との続柄の記載方法が変わります。

1. 改正の内容

住民票の世帯主との続柄について、長男、長女、養子等はすべて「子」に変更となります。

2. 具体的には

長男、2男、3男・・・ → 子
長女、2女、3女・・・ → 子
養子、養女 → 子
長男の妻、養子の妻 → 子の妻
長女の夫、養女の夫 → 子の夫

3. 実施年月日

平成7年3月1日(水)

地震に備えよう

「避難場所を歩いて確認しよう」

●一時集合所 避難しなければならないときは、火災などにより危険がせまったとき、警察署や消防署、自治体等の防災広報車などからの指示があったときです。そんなときは、まず、一時集合所に避難しましょう。常日ごろに、家族や隣近所の人びとと、どこへ避難するか決めておくことが大切です。

大きな地震が静まったあと、危険がないとわかったときは、できるだけ家を守り、火災出火時の初期消火につとめましょう。

●広域避難場所 災害の状況によっては、一時集合所より広域避難場所に移動します。各自治体の防災本部の指示に従って下さい。避難時の服装、持ち物など、普段より心掛けておきましょう。

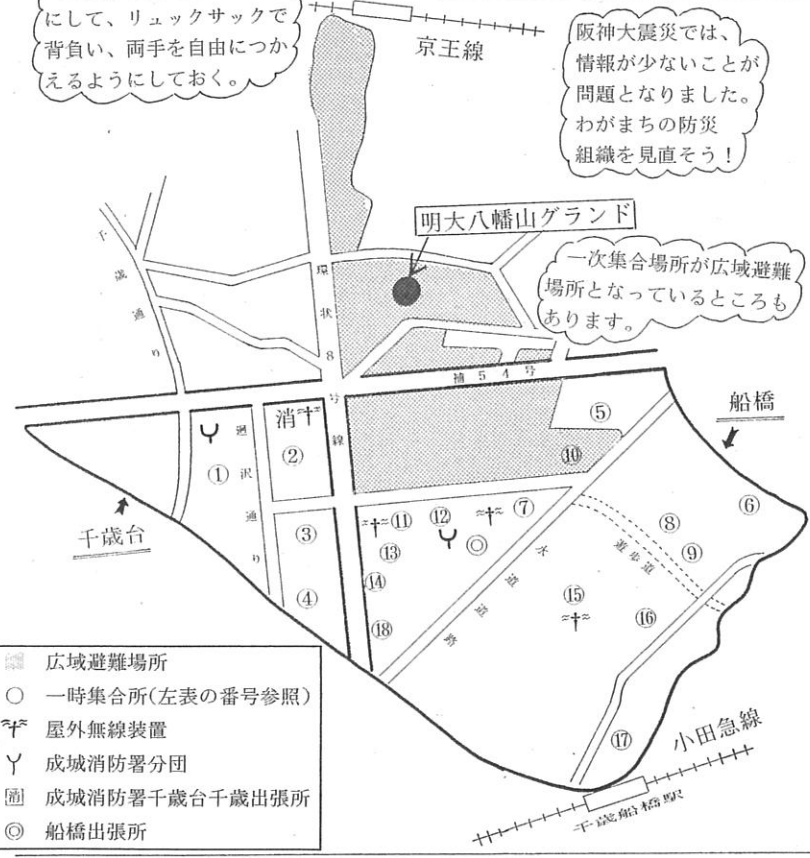
□ 一時集合所一覧表 □

組 織	一時集合所	集合所在地	代表者・世帯数
千歳台廻沢町会 地域防災部	①稲荷神社	千歳台5-17	一杉 武治 1,300
	②希望丘中公園	千歳台4-11	
	③希望丘記念公園	千歳台4-2	
	④希望丘南公園	千歳台3-15	
船橋葎根会 防災本部	⑤葎根公園	船橋6-21	黒田 寅之助 900
	⑥郵政宿舍広場	船橋5-11	
	⑦希望丘小学校	船橋4-9	
西経堂団地 防災部	⑧団地中央広場	船橋5-17	駒井 澄子 (改築後) 820
	⑨第2鯉沼運動場	船橋5-17	
希望丘団地 自治会防災本部	⑩団地内広場	船橋6-26	額賀 一哲 1,100
都営4丁目住宅 自治会 防災部	⑪団地内広場	船橋4-30	福田 秀雄 165
船橋会 防災部	⑫船橋中学校	船橋4-20	高橋 重信 2,800
	⑬神明神社周辺	船橋4-39	
	⑭船橋小学校	船橋4-41	
	⑮池田児童遊園	船橋3-11	
	⑯千歳丘高校	船橋3-18	
	⑰船橋1丁目児童遊園	船橋1-3	
船橋郵政宿舍 自治会防災部	⑱宿舍内広場	船橋2-25	木部 裕之 108

非常持ち出し品は最小限にして、リュックサックで背負い、両手を自由につかえるようにしておく。

阪神大震災では、情報が少ないことが問題となりました。わがまちの防災組織を見直そう!

一次集合場所が広域避難場所となっているところもあります。



- 広域避難場所
- 一時集合所(左表の番号参照)
- 〒 屋外無線装置
- Y 成城消防署分団
- ⊕ 成城消防署千歳台千歳出張所
- ◎ 船橋出張所

数秒のうちに、戦後最悪の大惨事をひきおこした阪神大震災は、東京に住むわれわれに、最も強烈に教訓をあたえてくれた。
当紙の編集委員会でも即座に座談会を開いた。
「まず身を守ろう」
今までは、大地震がきたら、まず火を消せだった。今回の地震を見たら、まず身を守ろうが第一の声だった。

身を守るには、①家の中を安全にしておくこと。②安全なまちづくり。に区民そろって協力しあうこと。
③防災設備の完備等・・・
近隣との
コミュニケーション
今回の地震で、近隣の力が如何に大きな力かを知った。普段からの近隣とお付き合いは、家族と同様に大切にしよう。まちの防災訓練には皆そろって参加しよう。

広域避難場所 避難は徒歩で
明大八幡山グラウンド一帯

編集後記
阪神大震災で亡くなられた方々のご冥福を心からお祈りいたします。天災、人災はいつ起こるか。貴い生命、財産の被害を考えるとわがまちも安全だろうか。防災訓練の見直し、心構えの再確認、なお編集委員会の拡大強化の協議検討が行われた。「T・T」

出張所
船橋を
船橋協
団協
任に
奉に
赤団
自分
阪神大震災では、ボランティアの人々と日赤の活動が連日報道されました。当分団でも、1月28日・29日に駅頭募金に取り組み、3月1日現在までに船橋出張所を通じて日赤に寄せられた義援金は、九四万五千八三六円にもなります。厚くお礼を申し上げます。
災害が発生したとき直ちに出勤し十分に活動できる態勢は、日頃の訓練で養われてこそ役立つものと思えます。当分団もこうした見地から考えて、災害に対応する訓練、分団組織の充実町会との連携などの課題もあります。また、5月は日赤活動の根幹となる社資募集の大切な月です。この大震災を契機により多くの成果をつくりだしていかなければと考えています。皆様のご協力をぜひお願いいたします。(日赤奉仕団船橋出張所分団長池田文子)〔取材荻原和恵〕